



2026年3月30日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ラ ッ ク ラ ン ド  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 笠 原 弘 和  
(コード番号：9612 東証プライム)  
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 坂 本 寛 樹  
兼コーポレート統括本部長  
(TEL：03-3377-9331(代表))

### 当社取締役会の実効性評価結果の概要について

当社は、ステークホルダーに対してアカウンタビリティを果たし、充実したコーポレート・ガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値向上を目指すため、株式会社東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、2025年12月期の当社取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その結果の概要について、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 取締役会実効性評価の実施方法

##### (1) 評価対象

2025年12月期の当社取締役会（臨時取締役会を含む）。

取締役（監査等委員である取締役を除く。）： 6名（うち、2名が独立社外取締役）

取締役監査等委員： 4名（うち、全員が独立社外取締役）

※取締役（監査等委員である取締役を除く。）6名全員が、2024年8月30日開催の当社第54回定時株主総会にて選任され、2025年3月28日開催の当社第55回定時株主総会にて再任されております。また、取締役監査等委員4名全員は、2024年8月30日開催の当社第54回定時株主総会にて選任され、2026年3月30日開催の当社第56回定時株主総会終結までが任期となります。

##### (2) 評価プロセス

2025年12月期については、2025年12月開催の当社取締役会において、外部の弁護士及び公認会計士（以下、「外部専門家」という。）に当社取締役会の実効性評価を委託することを決定しました。2025年12月に質問票を全取締役へ配布し、外部専門家が2026年2月に回答内容を分析した後で各取締役にインタビューを実施し、総合的な評価結果を当社取締役会に報告いただいております。

##### (3) 質問内容

以下のテーマに関する質問を質問票に記載し、回答を依頼しました。

- 第1 取締役会の構成に関して
- 第2 取締役会の運営に関して
- 第3 取締役会の議題に関して
- 第4 取締役を支える体制に関して

## 2. 評価結果の概要

### (1) 質問票への回答結果と評価

外部専門家は、2024年12月期に引き続き2025年12月期においても、取締役会の現状に対する各取締役の評価は概ね高く、取締役会の「実効性」を概ね適切に発揮できているものと評価できるとしております。

### (2) 総合的な評価

前記「(1) 質問票への回答結果と評価」の分析を受け、外部専門家が各取締役に対して、インタビューを行った結果、外部専門家からの総合評価は以下のとおりとなります。

#### (総合的な評価)

株式会社ラックランドは2025年2月13日付で日本取引所自主規制法人に改善状況報告書を提出し（その後、2025年2月14日付で差替版を適時開示にて公表）、正常なガバナンスの状況となったと認められる取締役会において2025年12月期の運営が行われていること、下記に記載しているように2024年12月期における取締役会の課題についても積極的に対応がなされているものと認められること、取引金融機関と緊密なコミュニケーションを継続し与信交渉等を行いつつ、ガバナンスや収益性の改善を進めた結果、シンジケートローンに2025年6月に完済し財務負担を軽減したこと、収益性の改善が早期に進み一定の運転資金の確保に目途が立ったこと、一部の取引金融機関との融資協議状況において融資枠の増額の打診があったこと、理由により当社の運転資金の確保には一定の目途つたと認識し、2025年8月14日付で継続企業の前提に関する注記の記載解消が開示されていること等から、2025年12月期の取締役会において実効性が向上しているものと認められます。

#### 【2025年12月期の実効性向上に向けた今後の課題の達成状況】

- ✓ サクセッションプランの深度ある審議とその実行
  - 人事評価制度の検討を含めて検討が進められている
- ✓ 女性取締役の登用の検討
  - 検討は実施しているものの、登用の実現は未達成
- ✓ 経営陣に関する指名報酬委員会での評価及び報酬の深度ある検討
  - 業務執行取締役の適格性の検討、RS導入の検討など審議がなされている
- ✓ 現経営陣における中期経営計画の検討
  - 中期経営計画について検討・策定され、対外的に発表されている（2026年2月）
- ✓ 売上、利益など数値面のトップであるCFOの登用の検討
  - 必要かつ十分な知識と経験を持つCFOが登用されている（2025年4月）

今後より一層取締役会の実効性を高める観点から下記のような課題があるものと思料致します。

#### 【2026年12月期の実効性向上に向けた今後の課題】

- ✓ 女性取締役の登用の検討
- ✓ プライム市場企業として、より一層適格性のある業務執行取締役候補の上程
- ✓ サクセッションプランについて、株式会社ラックランドの将来を担う若手社員と業務執行を担う取締役からなる会議体を設置することの検討
- ✓ 取締役会の審議をより一層適切に行うため、取締役会の議題の前提となる経営会議の構成メンバーや審議内容について検討

以 上